

令和元年度第1回学校運営協議会 概要

嶺北高等学校

日 時 令和元年7月12日(金)15:30~17:10

会 場 嶺北高等学校第一会議室

◇委員名簿

No.	区 分	氏 名	出欠	No.	区 分	氏 名	出欠
1	学校関係者	山田 憲昭	○	6	地域住民	澤田 智則	○
2	保 護 者	森 啓	○	7	地域住民	豊永 大五	○
3	学校関係者	岩本 誠生		8	地域住民	山下 由子	○
4	学校関係者	高石 清賢	○	9	地域住民	宮本 久義	○
5	学校関係者	山下 秀雄	○	10	地域住民	山首 尚子	○

- 1 委員委嘱
- 2 開会行事
- 3 会長選出

設置等に関する規則第6条に従い互選によって、会長に 豊永 大五 氏、副会長に 山田 憲昭 氏を選出した。

- 4 協 議

山田憲昭委員より、学校組織、生徒状況、学校評価指標、嶺北高校5ヶ年計画、後期実施計画等、学校の状況説明のあと、以下の意見が交わされた。

○会議について

【澤田委員】

- ・要綱には原則公開とある。ウェブサイトでの周知も考えられる。
- ・要旨をまとめた議事録も公開してはどうか。
- ・資料はPDFでも良い。
- ・夜の開催が望ましい。

【森委員】

- ・PTAとしては15:30からの時間帯は出席しにくい。

○授業について

【澤田委員】

- ・授業改善への取り組みはどのような状況か。

【山田委員】

- ・義務教育レベルからの脱出にエネルギーを費やしている部分もあるが、上位層の補習では主体的な取り組みが見られる。下位層も伸びつつある。
- ・可能な限り授業等を参観していただいてご意見をもらいたい。

【事務局】

- ・若手教員を中心に浸透しつつある。グループワーク用のホワイトボードやスクールタイマーも導入して環境を整えている。

○学校評価について

【高石委員】

- ・学校に足を運ばないことには評価できない。

【澤田委員】

- ・担当分野を決めて部会をつくってはどうか。

○学力向上について

【山下(由)委員】

- ・先生は幅広い学力層に対応するためにどんな授業をしているのか。

【山田委員】

- ・一斉指導でできないところは個別指導で対応している。

【山下(由)委員】

- ・レベル差が大きい中で、どこに着目してカラーをつくるか、どっちに向かって走るのかが大切。
- ・一人ひとりの生徒の特性に合った指導・教育を進めることが大切。

【山首委員】

- ・下位層生徒は家庭のケアも必要とすることが多い。教職員だけでなく、地域からのケアも受けられる体制づくりが求められる。併せて、地域が何をすべきかを明確にする必要がある。

【山下(秀)委員】

- ・小中学校の取り組みが成果に繋がっているのか？

○新教育課程について

【澤田委員】

- ・カリキュラムが作成できたら協議会で承認する。
- ・作成にあたっては委員の意見を取り入れながら柔軟に対応してもらいたい。

【事務局】

- ・8/20に各教科で説明を受けてくる。8/28に1回目の検討会を開いて情報を共有し、10月に教科の意向を出し合って調整に入る。以後、12月、2月に会を開いて完成にこぎ着けたい。

○協議会のあり方について

【山首委員】

- ・まずは時間をかけて学校を理解することが必要。
- ・教職員とのコミュニケーションを図り、協議会を理解してもらうことも必要。

【宮本委員】

- ・今まで学校の現状を知らなかった。理解したうえで学校を見ていきたい。とくに経済人として、生徒の社会性やコミュニケーション能力に注目していきたい。

【豊永委員】

- ・何が課題なのかを明確にした上で学校の取り組みを進めて行かなければならない。

○学校の情報化について

【澤田委員】

- ・タブレットをしっかりと使えるよう取り組んで欲しい。

5 閉会行事